

- ② 本厚木駅南口に駐輪場を整備
- ③ 公共施設予約システムが新しく
- ④-⑤ 特集 民話でたどる厚木の歴史
今と昔が重なるところ
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ

厚木風雑煮

和風だしに、餅、鶏肉、サトイモ、ダイコン、小松菜を入れ、青のりとかつお節をかけて食べるのが特徴



厚木風雑煮を丁寧に盛り付ける子どもたち



おいしい給食に会話も弾む

給食で育む郷土愛

4時間目を終えるチャイムが鳴ると、食欲をそそる香りが校内に広がります。今日のメニューは厚木風雑煮。子どもたちは、餅に見立てた白玉を、おいしそうに頬張ります。

市では、食を通して子どもたちの「ふるさと愛」を育むため、郷土に伝わるメニューを給食に取り入れています。1月は厚木風雑煮、2月の市制記念日に合わせ、厚木のかてめしや名産である豚肉のみそ漬けをフライにしたメニューを多くの学校で提供。子どもたちにも大人気です。妻田小の栄養士・押田礼さんは「地元で伝わる料理を献立に取り入れて地域を知ってもらい、食への関心も高めたい」と話します。郷土料理には、ふるさとが歩んできた歴史や文化などが込められています。おいしい給食を通して、子どもたちは厚木への愛着を深めています。

① 厚木市立妻田小学校給食課 ☎25-2668

厚木のかてめし



野菜などの具材を加えた「ませご飯」。米が貴重だった1700年頃に、空腹を満たそうと具をませ込んだことが始まりといわれる

市HPで公開中 おうちで給食レシピ

子どもたちが普段食べている給食の作り方を紹介しています。厚木風雑煮とかてめしの作り方も掲載しています。

厚木市 おうちで給食

Zoom Up

自転車での利用をもっと快適に 本厚木駅南口に駐輪場を整備

自転車で駅を訪れる方の利便性を高めるため、本厚木駅南口の旭町2丁目に自転車等駐車場（駐輪場）を建設しています。2月20日から申し込みを受け付け、4月から利用できます。駐輪場ごとの機能に応じて定期の利用料金も見直し、さらに使いやすい駐輪場を目指します。

駅に近く、機能が充実
新設する駐輪場は、駅南口から徒歩3分、3階建てで原動機付自転車も駐

車でき、667台が収容できます。盗難防止効果を高めるため、入り口には定期券で通れる自動ゲートシステムを採用しました。使いやすい駐輪場が増えることで、放置自転車の予防にもつながります。

機能に応じて料金を改定

現在、市営駐輪場の定期利用は、どの場所でも一律料金です。駅からの距離や機能にかかわらず同額のため、利用者間で負担の差が生まれ、利用率も偏っていました。そのため市では、4月から利用料金を改定（下欄参照）。駅からの距離や、屋根や自動ゲートの有無など、設備の違いにより料金を設定することで、価格や機能で駐輪場を選べるようになります。

市では今後も駅周辺に新たな駐輪場を建設するなど、自転車をより快適に利用できるような整備を進めていきます。
☎交通安全課 ☎25-2760



建設が進む旭町2丁目駐輪場



自転車を上階へ運ぶコンベアを備えたオートスロープ



スペースを有効活用、女性や高齢者にも使いやすい駐輪ラック



盗難防止に効果的な防犯カメラを各階に設置

旭町2丁目駐輪場

新規 4月～

定期利用申し込み

期間 2月20日～3月5日（土・日曜、祝日含む）7～19時
場所 旭町2丁目2-1
定員 自転車550台
原動機付自転車40台

※抽選。学生は学生証をお持ちください。

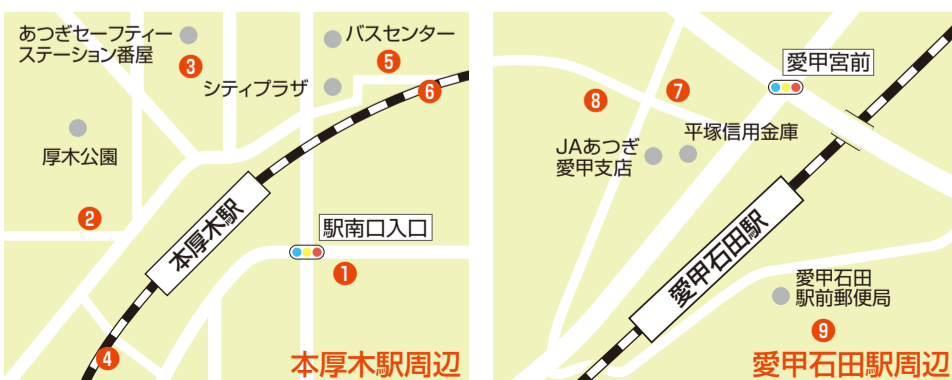
4月1日から定期利用料金を改定

駅からの距離や駐輪場の機能に応じて、1カ月当たりの定期利用料金を改定します。

駐輪場の名称	自転車		原動機付自転車	
	一般	学生	一般	学生
【4月1日から利用開始】 ①旭町2丁目	1・2階	2300円	1600円	3450円
	3階	1800円	1250円	
	屋上	900円	500円	
②本厚木駅北口	1・2階	2050円	1400円	3050円
	3階	1600円	1100円	
③中町2丁目	1・2階	2050円	1400円	—
	3階	1600円	1100円	
④本厚木駅高架下旭町		1550円	1050円	—
⑤中町1丁目第1		1300円	900円	1950円*
⑥本厚木駅高架下泉町		1300円	900円	—
⑦⑧⑨愛甲石田駅周辺		1300円	900円	1950円*

一時利用は、自転車1日100円、原動機付自転車は200円の一律料金

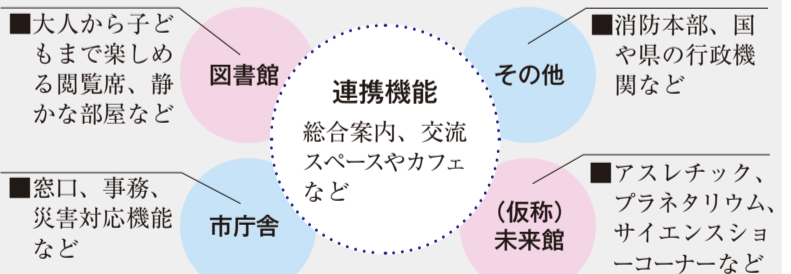
※⑤は125ccまで、⑦⑧⑨は全てのバイクが駐車可能



皆さんの声を計画に反映 複合施設等整備基本計画を策定

厚木バスセンター東側のエリア（中町第2-2地区）に、幅広い世代が集い交流できる施設を造るための整備計画を策定しました。2025年度の完成を目標に、整備を進めていきます。

整備基本計画における複合施設の主要機能



さまざまな世代の方から意見を聴取

- 多世代が集まるワークショップ
- 意見交換会
- パブリックコメントなど
- 専門家と市民の検討委員会
- 4000人の市民アンケート

皆さんから集まった声

- 子どもも大人も楽しめる施設があるとよい
- 世代間の交流の場をつくってほしい
- 手続き以外でも訪れたい市役所にしてほしい

計画は市HPで見られます。厚木市 複合施設基本計画 検索
☎市街地整備課 ☎225-2424



パソコンでも
スマートフォンでも

簡単・便利

いつでも・どこでも

さまざまな機器で利用可能

※画像はイメージです。

新システムの登録方法

登録方法

- Step1** インターネットで仮登録
仮登録は [こちら](#)
- Step2** 仮登録後、30日以内に施設窓口で本登録
持ち物：身分証明書、利用者登録通知はがき
(マイタウンクラブ登録者のみ発送済み)

本登録の窓口

個人登録…いずれかの施設で手続き

施設名	受付時間
荻野運動公園、東町・南毛利・猿ヶ島スポーツセンター、及川球技場	9～21時
情報プラザ	9～19時 (土・日曜、祝日は17時まで)
情報政策課	9時～17時15分(平日のみ)

団体登録…利用希望の公共施設で手続き

施設名	受付時間
公民館	9時～17時15分(祝日は除く)
情報プラザ	9～19時 (土・日曜、祝日は17時まで)
子ども科学館	9～22時
南毛利学習支援センター	9時～17時15分
あつぎ市民交流プラザ	9～21時
文化会館	9～17時
保健福祉センター、公園緑地課、スポーツ推進課	9時～17時15分(平日のみ)

※複数ある場合は各施設で手続き。公民館は whichever 一館、ぼうさいの丘公園は公園緑地課、学校夜間開放はスポーツ推進課へ。

臨時受付窓口を開設

個人・団体登録を受け付け
《日時》2月8日 9～12時 《場所》市役所本庁舎
《対象》利用者登録通知はがきが届いた方
☑当日直接会場へ。

Zoom Up

いつでも、どこでも使いやすく 公共施設予約システムが新しく

あつぎ市民交流プラザやスポーツ施設などの公共施設を予約するシステムが新しくなります。現在のシステムは終了するため、6月以降の施設の予約・利用には登録が必要です。

利用には登録が必要

新システムの利用には、現在のシス

新システムは、パソコンをはじめ、スマートフォンやタブレットでも見やすく、操作しやすい画面になっています。さらに、施設名などのキーワードから検索できる機能を追加。目的に合った施設を素早く見つけて、予約できます。

サークル活動で公民館を使用している佐藤美智子さん(68・元町)は「スマートフォンなら、外出先でも簡単に施設の予約ができて便利」と期待を込めます。

パソコンでも利用可能

現在、公共施設の予約などを受け付けているマイタウンクラブは、運用開始から15年が経過しています。市では、情報通信技術の発展やスマートフォンの普及などに対応し、市民の皆さんがより快適に使えるよう、3月から新しい公共施設予約システム(新システム)の運用を開始します。

マイタウンクラブで提供するサービスの移行予定

●マイタウンクラブ ●新システム ●市HPなど

	2月	3月	4月	5月	6月
公共施設予約システム		5月分までの予約			
講座予約システム		6月分からの予約	詳しくは広報あつぎ3月15日号に掲載		
文化会館チケット予約		2019年11月に移行済み			
図書予約システム		2017年10月に移行済み(マイタウンクラブカードはそのまま使用可)			
公募・募集			e-kanagawa電子申請に移行		
サークル情報			市HPなどに移行		
あつぎ地域 SNS		2019年8月に近所SNS「マチマチ」に移行済み			
お店・サービス情報		2019年12月に移行済み			

情報政策課 ☎225-2459

市では、今後も時代に合わせて誰もが使いやすい情報環境づくりを目指していきます。

システムを利用している方も含め、新たに利用者登録の手続きが必要です(左欄参照)。新システムの導入により、マイタウンクラブは5月末で終了。公共施設予約以外のサービスも順次リニューアルしています。

皆さんの意見をまちづくりに生かす 市民意識調査の結果まとまる

市民意識調査は、皆さんのまちづくりに対する考えや、意識の変化、ニーズを把握するため、隔年で実施しています。結果は、今後の市政運営の資料として活用します。

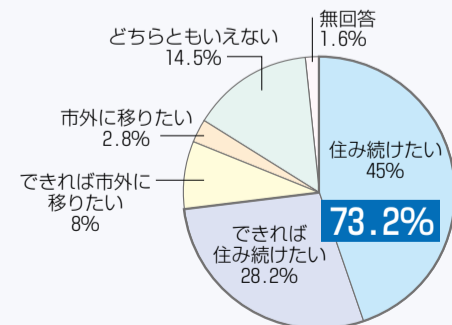
☎広報課 ☎225-2043

調査期間
2019年7月1～20日

調査対象
無作為に抽出した18歳以上の市民(外国籍市民含む)6000人(回収率50.1%)

結果一例

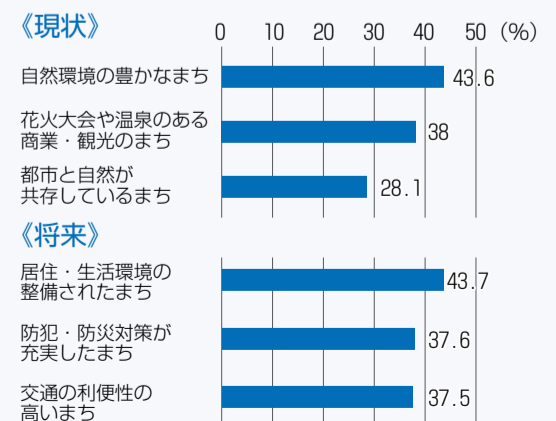
定住意向



▲約7割が「住み続けたい」と回答

調査結果は、市役所や中央図書館、公民館、市HPなどで閲覧できます。

市の現状と将来のイメージ(上位3項目)



詳しくは [厚木市 市民意識調査](#) [検索](#)



民話でたどる厚木の歴史



今と昔が

重なるところ

厚木市は、大山の参詣道と相模川の水運を礎に、交通の要衝として栄えてきた。市内には、その面影を感じられる民話が多く残っている。私たちはどこから来て、どこへ行くのか。特集では、民話をひもとき、過去と現在が重なる場所をたどってみた。

玉川・南毛利

人柱になった山伏

筑波山(茨城県)から大山へ参詣に訪れた山伏が、玉川にせきを造ろうとする民衆のために、命をささげた事を伝えている。

1576年は、6月初めから1カ月間も雨が降らない日照り続きの年だった。干ばつに困った長谷村の領主は、地域を流れる玉川の上流(小野)にせきを作る工事を始めた。しかし、川の流れが激しく、力を合わせて打ったくも土を詰めればもたもた流されてしまう。

「と言つて立ち去った。翌日、村人の前に現れた山伏は「私がいにならう。そうすればせきは完成する。ただし、今後一切の川にくだは打たぬこと」と言い残し、川に飛び込んだ。その後は、山伏の言葉どおり川の水がせき止まり、枯れかけていた田んぼに水が流れた。村が干ばつから救われたことを感謝した領主は、山伏の霊を自分の屋敷近くの山に祭り、「環大明神」として長谷村の守り神とした。また、玉川のせき跡には山伏の着ていた衣を埋めた「衣塚」を建て、その徳をたたえた。



環大明神を祭る堰神社で地域の子もたちが祭りなどで物語を語り継ぐ



玉川沿いの田んぼにぼつんと建つ衣塚



玉川中学校 玉川野球場

相川・厚木

かずさ道者の髪の毛

戸田は、相模川の船着き場が近く、江戸時代には大山参詣をする旅人でにぎわった。海老名と厚木を結ぶ戸田の渡しは、大山参詣や物資の輸送のため、明治の初めまで盛んに使われた。江戸時代の画家、歌川広重や渡辺崋山が訪れ、厚木の情景を作品に残している。

江戸時代、大山へ向かう道「大山道」を通る旅人でにぎわった戸田で一人の道者(大山に参詣する人)がお茶屋に入った。一息入れるとまた大山を目指して歩き始めたが、どうしたことが、ぼつたりと道に倒れてしまった。近くの村人たちがすぐに駆け寄り介抱したが、ぐったりして起き上がる力がない。苦しい息の下から「自分は上総(千葉県)から来た者で、大山参詣に行く途中だった」と言くと、たちまち息を引き取ってしまった。村人たちは、名前も住所も分からないまま死んだ道者を善養院というお寺に葬るこ

とにした。道者の髪の毛をはさみで切り落として瓶に入れ、手厚く葬った。やがて長い年月が過ぎ、この「かずさ道者」が村人たちに忘れ去られようとしていたある日のこと、一人の旅人が戸田の宿場に着てきた。聞くと、「かずさ道者」に縁のある人だという。古くから言い伝えられていた場所を掘ってみると、言い伝え通り、髪の毛とほさみが出土した。喜んだ旅人は、髪の毛とほさみをふるさとに持ち帰った。



戸田の渡し(相模川西岸) 相模川 渡辺崋山 蒲留の地

依知

依知神社の赤城神馬

今も交通量の多い依知神社の近くは、平家や源家など、時の権力者も訪れる交通の要衝だったことが分かる。

平安時代の中頃、将門が依知神社に参拝した。平家や源家が泥沼となり、土手は崩れ、田畑は泥沼となり、村人は途方に暮れていた。復興の手助けをしたと考えた将門は、赤城山(群馬県)の神馬を与えた。馬の働きで、



依知神社



鮮やかに黄葉する依知神社(赤城明神社)のイチョウ

復興は順調に進んだ。喜んだ村人は、将門と赤城山の神馬を神社に祭り、赤城明神社とした。さらに鎌倉時代、源頼朝の子・頼家が建物再建の記念にイチョウの木を植えた。市指定天然記念物のイチョウがそれだといわれている。 ※神馬は、神様が乗る馬のこと

荻野



平安時代から信仰を集める上荻野の松石寺



上荻野小学校 松石寺

弘法大師が開いたといわれる松石寺には、遠方からも多くの巡礼者が訪れた。この寺で修行した僧が子どもたちに勉強を教えたのが、荻野小学校の始まり。

白キツネのどくろ

昔、上荻野の松石寺に徳の高い和尚がいた。あるとき、寺に一人の小坊主がやって来て弟子になった。小坊主は一生懸命修行に励んだ。ある日、小坊主は厚木村に遣いに行ったが、帰り道で吠える犬に追い掛けられた。もう少しで命を落とすところだった。青い顔をして寺に戻った小坊主は、「実は私は、キツネである。和尚様を慕って修行したが、犬に正体を見られ、危うい目に遭った。やはり、どんなに修行しても獣には俗界を離れることは無理と分かった。山に帰り、元のキツネとして暮らすことにする。和尚様への思は決して忘れない」と打ち明けると、裏山に消えてしまった。

小 鮎

越中へ行った大蛇

大山道や相模川の水運を使い、この地には多くの商人が訪れていた。「おきくすり」で有名な富士山の薬売りも訪れていた証が残っている

ある年の夏のこと。富山県から来た行商の薬屋が、飯山地区を回りながらこんな話をしていた。「故郷の、とある家を訪れた時、そこで働いていた女中と世間話をした。すると「私は相模国の飯山村に住んでいた大蛇の化身である。昨年の夏、小鮎川の洪水で、ほこらと一緒に流されてしまった。後に海を渡り、越中国に流れ着いた」と話す。驚いたので相模国の行商でここを訪れた」と話した。飯山の地には、確かに水の神・弁天様が祭られていた。越中富山にも、同じ弁天様が祭られている。



ほこら小鮎川

陸 合

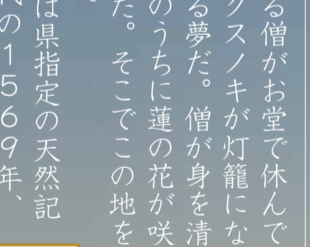


大迫力の妻田薬師のクスノキ

妻田地区には、語り継がれた伝承が地名として残る。地域のシンボルとして親しまれているクスノキには、有名な戦国武将にまつわる逸話もある。

妻田薬師堂のある僧がお堂で休んでいる時、こんな夢を見た。庭のクスノキが灯籠になり、お堂が昼のように明るくなる夢だ。僧が身を清めようとして池へ行くくと、一夜のうちに蓮の花が咲いて、白い根が池一面に広がった。そこでこの地を白根と呼ぶようになったという。

境内のクスノキは県指定の天然記念物で、戦国時代の1569年、武田信玄が小田原を攻めた帰り道のためにこの木に火を付けて明かりとしたという話も伝えられている。



妻田薬師



相模川の東岸から大山と富士山を望む風景を描いた歌川広重による「富士三十六景 さが三川」

歴史を知り 未来を考えるきっかけに 元・市史編集委員 落合 清春さん (63・宮の里)

民話には、教訓や信仰が込められています。科学の発展や生活の変化で本来の意味が薄れてしまったものもありますが、昔の人が忘れてはいけないと思った出来事や、そのときの気持ちをひもとくのは大切です。なぜ起きたのか、どう対応したのか、どう思ったのかを知り、今の生活と重ね合わせることは、新しい発見や未来への展望をもたらしてくれるかもしれません。

厚木は山も川も平野もあり、変化に富んだ面白い場所。そして時の政権者をはじめ全国から多くの人々が訪れ、たくさんの文化が生まれました。外に出るときは、ぜひ目に留まったものを観察してみてください。普段は気にしていない史跡や地名などにも、昔の生活の痕跡が潜んでいます。

本文の民話は『厚木市史資料叢書 語り継ぐふるさと〜厚木の口承文芸』から抜粋・編集して掲載

他の民話が読める本を市HPで紹介 厚木市 民話 検索

あつぎ古民家岸邸の雛まつり 2月13日〜3月15日(月・火曜日は休館)、10〜15時。古民家岸邸。ひな人形の展示。 ※3月1日、10〜14時は「民話のおはなし会」を開催(抹茶サービスあり)。 192698

あつぎ郷土博物館開館1周年記念 ◆講座「ものふと相模国」 ①2月29日「ものふと相模国への招待」 ②3月8日「鎌倉幕府の成立と相模国の武士たち」 ③3月15日「戦国相模の大名と家臣」がテーマの講義。14〜16時。定員100人。 192683 192684 192685 ◆特別展「あつぎの花咲く植物の世界」 2月22日〜3月22日(2月25日は休館)、9〜17時。実物大の精巧な模型を多数展示。 192687 ◆特別展記念講演会「あつぎの草木、今昔物語」 2月22日、14時〜15時20分。県の最新植物調査で分かったことを学ぶ。定員100人。 192686

当日直接会場へ。 ◆2月1日から直接、電話またはEメールであつぎ郷土博物館 225-2515・ 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jpへ。先着順。

朝日を浴びる大山と富士山(相模川の東側から撮影)

安心して子どもを育てられるまちに

共働き子育てしやすい街ランキング2019で全国9位



家族の笑顔が絶えないまちを目指す

昨年、日経DUALと日本経済新聞社が共同で実施した自治体の子育て支援制度の調査で、厚木市は「子育てしながら働きやすい都市」全国9位となりました。県内では3年連続の1位です。

調査は全国の自治体を対象に、共働き世帯に必要な施設やサービスの充実度など38項目で実施。市の保育所や学童保育の待機児童対策をはじめ、医療、保育にかかる費用の助成や保育士確保の取り組みなどが評価されました。

共働きで子育てをしている井上花さん(34)は「子育て支援が充実すれば市内に住みたいと考える若者が増えると思う。これからも厚木ならではの支援に期待したい」と話していました。

まちづくりに市民の声を

第10次総合計画市民検討会議が提言書を提出

まちづくりの指針となる次期総合計画の策定に向け、目指すべき将来の方向性を話し合ってきた市民検討会議が小林市長に提言書を提出しました。提言書には、理想的なまちの実現に向けた158項目が示されています。

検討会議は、昨年6月に発足。市民の皆さんや関係団体の代表、大学教授など40人が参加し、計画の最終年次となる2032年の理想の都市像を描くため、「子育て・教育」「福祉・保健」「産業・まちづくり」「環境・河川」の4部会に分かれ、市民目線で半年にわたって議論を重ねてきました。

検討会議の会長を務めた山口泉さん(69)は「誰もが希望と生きがいを持てるまちであり続けるための計画になれば」と思いを語りました。



小林市長に提言書を渡す検討会議のメンバー



ロボットのまちを世界にPR

2019国際ロボット展に出展

12月に東京ビッグサイトで開催された「2019国際ロボット展」で、市内の企業や大学などが開発したロボットをPRしました。

市のブースには、約1万4千人が来場。3回目の出展となった今回は、市内企業などが製作した



アイドロイド9の繊細な動きに見入る来場者

兄弟で今季の活躍を誓う

田中広輔・俊太選手が市長を表敬

2人は昨シーズン、開幕戦でプロ野球史上初となる兄弟でのスタメン出場を果たすなど、主戦力としてチームに貢献してきました。

今季、チームの選手会長への就任が決まっている広輔選手は「けががあったので、今季は最後までグラウンドに立ってプレーしたい」。日本シリーズの出場を経験した俊太選手は「これまでの経験を糧に、常に勝つための準備をしていきたい」とそれぞれ意気込みを語りました。



チームの柱を担う広輔選手



プロ2年目の俊太選手

市内出身で、広島東洋カープに所属する田中広輔選手(30)と、読売ジャイアンツに所属する弟の俊太選手(26)が12月にそれぞれ市役所を訪れ、小林市長に昨年の成果と今季の抱負を語りました。

市ロボット産業推進協議会の岡田幸勝さん(73)は「来場者の反応に手応えを感じた。企業の誘致や支援に力を入れることで新しい知恵が集まり、さらに研究や開発が進んでいくだろう」と期待を込めていました。

アツギ X NEW ZEALAND ホストタウン通信

ニュージーランド NZサッカー協会と事前キャンプの基本合意を締結

東京2020大会の開催まで半年を切りました。市ではこれまで、バスケットボールやゴルフのNZ代表チームと事前キャンプなどの基本合意を締結してきました。2月には新たに、NZサッカー協会とも締結します。公開で実施する調印式に、家族や友達とぜひお越しください。

調印式に参加しよう

《日時》 2月11日 13~15時

《場所》 荻野運動公園

《費用》 無料

《内容》 NZサッカー協会との交流会(14時~)、東京2020マスコット「ミライトワ」と「ソメイティ」のダンス

■当日直接会場へ。



東京2020マスコットと一緒に、NHK2020応援ソング「パブリカ」を踊る

東京2020大会に向けて、ホストタウンとなったニュージーランドとの交流事業を紹介します。

ひとまち 元気

市長 小林孝良



年頭の記者会見で抱負を語った

一年の計は元且にあり。皆さんは年の初めに、一年の目標や計画を立てていますか。私も毎年、ぶれることなく仕事を進めていくため、年頭に市政運営のテーマを決めています。今年のテーマは、大きな輪と書いて「大輪」です。

市長に就任して13年。まちづくりの方向性を定める総合計画「あつぎ元気プラン」に基づき、全力で市政運営に取り組んできました。その計画の仕上げとして、日本一のまちを目指すため、市民の皆さんとさらに大きな団結の輪を築けるまちづくりを進め、次期計画につなげていきたいと心を新たにしています。

将来に向けて、私たちが追い求めるべき成果は一人一人が満足できるまちの実現です。市民の皆さんの笑顔に満ちた大輪の花を咲かせ続けたい。この思いを胸に、今年も力を尽くしてまいります。

合計の仕上げとして、日本一のまちを目指すため、市民の皆さんとさらに大きな団結の輪を築けるまちづくりを進め、次期計画につなげていきたいと心を新たにしています。

改めまして感謝していただきます。今年も力を尽くしてまいります。

タウンガイド

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 ㊚=マイタウンクラブ(㊚印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「㊚印」と記されたものは、申し込み可) 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「鐘ヶ嶽から望む街並み」
 #七沢
 #東京スカイツリー
 #12月27日撮影
 #niceatsugi
 広報課公式Instagramで公開中



若手社員セミナー&交流会

3月13日、15時30分～19時30分。厚木商工会議所。「心をつかむ！誰からも好かれる話し方」がテーマの講演と交流会。市内在住在勤在学の方100人。3000円。☑公共施設や市HPにある申込書を、直接または郵送、ファクス、Eメールで3月6日(必着)までに〒243-8511企画政策課☎225-2450・㊚225-3732・✉1100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。

情報プラザフェスタ2020

- 2月22日。情報プラザ。無料。
- 初心者パソコン講座
10～12時。表計算ソフトでの住所録の作り方を学ぶ。定員6人。
- ◆よろず工房
12～14時。カレンダー、名刺、名前シールなどを作る。
- 親子でプログラミング体験
10時～11時30分。プログラミングで水族館を作る。小学生と保護者12組。㊚192716
- ☑■◆は2月1日から電話(■は先着順)、●は電話またはハガキに講座名、〒住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、市外在住の方は勤

務先または通学先を書き、2月13日(必着)までに〒243-0021岡田3050情報プラザ☎220-2711へ。抽選。

大山ハイキング&アイデアソン

2月29日、9～16時。大山周辺。ハイキングを楽しみ、アプリを使った観光を考えるワークショップ。市内または伊勢原・秦野市在住の小学5年～大学生40人(小・中学生は保護者同伴)。無料。☑2月21日までにタイムカプセル(株)☎058-214-9760へ。先着順。☎観光振興課☎225-2820。

フィットネスプログラム with湘南ベルマーレ

①2月25日②3月3日③10日、19時～20時30分。保健福祉センター。湘南ベルマーレスポーツクラブの講師から日常で簡単にできる運動を学ぶ。市内在住の40～64歳の男性各30人。無料。☑2月3日から健康づくり課☎225-2201へ。先着順。

子育てアドバイザー講習会

3月7・11日(全2回)。9時20分～17時。あつぎ市民交流プラザ。市内在住で地域の子育て支援にボラ

第46回 厚木市 緑のまつり

ステージ出演団体&出店者募集

美しい花に彩られたステージでパフォーマンスをする団体と、緑化や環境に関する活動をPRする出店者を募集します。

■「花と緑のステージ」出演団体募集

内容 ダンス、楽器演奏など
 対象 3人以上の団体
 出演時間 1団体10分以内

◆出店者募集

内容 緑化・環境活動のPRや体験など
 対象 市内や近隣市の企業や学校など

5月9・10日

10～16時

厚木中央公園

☑公園緑地課や公民館、市HPにある申込書を、直接または郵送、ファクス、Eメールで2月28日(必着)までに〒243-8511公園緑地課☎225-3027・✉4800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。☑抽選。◆書類選考あり。

☎公園緑地課☎225-2412

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集
 厚木市インターネットモニター 検索

☎広報課☎225-2043

1月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆8年前に菅井さんが表紙を飾った広報紙を思い出し、胸が熱くなった。今後の活躍が楽しみ/60代男性
 ◆厚木から羽ばたく皆さんを応援したくなった。誇りに思う/30代女性
 ◆若者の活躍が頼もしい/70代男性
 ◆2020東京大会の出場を目指す選手たちの続報に期待。SNSなどで逐一発信してくれるとうれしい/50代男性
 ◆博物館にはオープン当初に行ったきりなので、今年は企画展や催しにも足を運びたい/60代女性

市民協働提案事業



江戸時代から伝わる民俗芸能「相模人形芝居」が、ジャズとの共演に挑みます。

3月1日 14～16時
 文化会館 無料

☎文化生涯学習課☎225-2508

《演目》傾城阿波の鳴門他 《出演》国指定重要無形民俗文化財・相模人形芝居「長谷座」「林座」、早川トリオ、Big Wing Jazz Orchestra、厚木ミュージカルカンパニー他 《定員》1400人。☑当日直接会場へ。先着順。

ンティアとして関わりたい方20人。無料。託児あり(1歳以上10人。要予約)。後日、保育所実習(半日、託児なし)を実施。全課程修了者に認定証を交付。☑2月28日までに子育て支援センター☎225-2922へ。抽選。㊚192641

気にするだけの毎日にサヨナラ! 血圧ミラクルチェンジ

3月①4日=相川公民館②13日=厚木南公民館、14時～15時30分。高血圧予防や食事改善のこつを学ぶ。ゲートキーパー養成講座と血管年齢測定も同時開催。市内在住の40～64歳30人。無料。☑2月3日から健康づくり課☎225-2201へ。先着順。㊚192676②192677

ファミリー・サポート・センター提供会員を募集

地域で育児の手伝いをする提供会員を募集します。

《対象》市内在住で子どもの一時的な預かりや、保育施設への送迎などができる方(講習会の受講が必要)《講習会》3月7・11日(全2回)、9時20分～17時。あつぎ市民交流プラザ。無料。託児あり(1歳以上10人。要予約)。☑子育て支援センターにある申込書を、2月28日までに直接、ファミリー・サポート・センター☎225-2933へ。㊚392009

応急手当普及指導員を募集

《対象》応急手当指導員または応急手当普及員の資格を持ち、講習回で月1回程度(1回3時間)指導できる方若干名《期間》4月1日～2021年3月31日《謝礼》1回3000円。☑



2月19日 締め切り

☎健康長寿推進課☎225-2174

消防本部や市HPにある申込書を、2月15日までに直接、救急救命課☎223-9365へ。書類選考・面接あり。

台風15・19号で被災した住宅の補修費用の一部を県が支援

《対象》①半壊または一部損壊の被害②屋根または外壁などの10万円以上の耐震工事を2月29日までに実施③住宅の所有者一の全てを満たす方(災害救助法に基づく応急修理制度の利用者は除く)《補助額》1戸当たりの限度額が30万円で、工事費の20%以内。☑3月10日までに住宅課☎225-2330へ。詳しくは市HPに掲載。

みんなの声でつくるまち

【意見交換会】

■市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間延長

2月12日、18～19時。市役所本庁舎。☑当日直接会場へ。☎企画政策課☎225-2455。

【パブリックコメント】

■災害廃棄物処理計画(風水害編)《閲覧期間》2月1日～3月2日。☎環境事業課☎225-2790。

◆厚木北児童館再整備(案)《閲覧期間》2月3日～3月4日。☎青少年課☎225-2581。

いずれも閲覧場所は、各問い合わせ先、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、保健福祉センター、市HP、厚木北児童館(◆のみ)。応募方法は閲覧場所にある用紙で確認。

全国瞬時警報システム(J-ALERT) 全国一斉情報伝達試験

J-ALERTの確認のため、防災行政無線で試験放送を実施します。

《日時》2月19日 11時～
 気象状況などにより中止の場合あり。

☎危機管理課☎225-2190

編集後記

歴史を学んだ後に市内を回ってみると、どの地域からも大山の姿を望めることに気がきました。特に早朝、朝日を受けて濃い影が刻み込まれた巖かなたはずまいには、背筋が伸びる思いがしました。昔の人が大山に寄せた特別な気持ちを、少し理解できた気がします。人々の暮らしは変わっていきませんが、広重や華山の心も動かした厚木の変わらない風景を、ずっと心に残しておきたいと思いました/水野

あつぎ 元気Wave
2/1~CATVで放送



第56回 あつぎ飯山桜まつり

参加者募集

期間 3月28日~4月5日

サクラが舞う舞台上、ダンスを披露したりみこしを担いだり、伝統舞踊を踊ったりしながら、一緒に厚木の春を盛り上げませんか。

☎観光振興課 ☎225-2820

さくら輿

最終日を盛り上げる女みこしの担ぎ手を募集します。

日時 4月5日 10~12時

会場 飯山庫裡橋~飯山白山森林公園

対象 高校生以上の女性20人程度

報酬 1000円(交通費含む。粗品、弁当付き)

☎3月27日までに本厚木駅観光案内所 ☎228-1131へ。抽選。

ダンスコンテスト

満開のサクラの下で自慢のダンスを披露しませんか。

日時 3月28日 13時30分~16時30分

会場 飯山白山森林公園

対象 2~30人程度のチーム25組

費用 1団体2000円

☎観光振興課や市HPにある申込書を、直接または郵送、ファクス、Eメールで、2月28日(必着)までに〒243-8511観光振興課 ☎223-0174・☐3850@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。

飯山の春を満喫

2018・19年さくら輿参加者
緑川 千佳恵さん(東京農大3年)



満開のサクラの下でおみこしを担ぐのはとても気持ち良く、伝統の衣装を着られたのも貴重な体験でした。他の大学の参加者や芸妓衆の皆さんとも交流でき、祭りの後に入った温泉も気持ち良かったです。お祭りにサクラに温泉にと、一日で飯山の春を存分に体験できるすてきな機会。今年もまた参加したいです。

飯山花音頭

伝統の踊りを来場者の前で披露する踊り手を募集します。

日時 4月5日 10~12時

会場 飯山庫裡橋~飯山白山森林公園

練習会 3月24・31日、4月2日。19時~。小鮎公民館

☎3月23日までに本厚木駅観光案内所 ☎228-1131へ。

自然歳時記

●カワアイサ● カモ科

体長は、写真の雌で60センチ、雄は70センチほどの大きさ。雌は茶色の短い冠羽がある。雄は緑黒色で冠羽はない。冬鳥として渡来するが、その数はとても少ない。温水の北谷橋付近の川べりで見つけた。写真・文/吉田文雄



肌寒い恩曾川の川べりを見ていると、胸を丸く膨らませたツグミが寒そうな目でじっとこちらを見るので、余計寒くなってきた。

突然、ザバザバザバッと辺りの静寂を破って、白いカワアイサが飛んできた。寒さを吹き飛ばすように素早く潜ると、光る魚をあっという間に捕らえて飲み込んだ。またぐんぐ

ん潜って行く姿が水の中に見えた。浮き上がると、赤い口からポタポタと水が滴り落ちた。川の水は、以前よりもずっときれいになっている。

りりしい雌のカワアイサに出会い、いつの間にか寒さを忘れてしまった。こちらに気付いていると思うが、無心に活動する姿は華やかで美しく、いつまでも見飽きない。

厚木市の人口 (1月1日現在)

🏠 世帯数 10万530世帯(前月比33世帯増)

👤 人口 22万4536人(前月比61人減) 男11万6203人・女10万8333人